

## ギリシャ国カラヴリタ（KALAVRITA）市から姉妹都市提携の希望

2011年8月  
在ギリシャ日本国大使館

今般、ギリシャ国カラヴリタ市から当館に対し、日本の都市との姉妹都市提携を希望する旨の要請がありました。以下にカラヴリタ市の概要をご紹介します。

### 1. 概況

人口：8,580人

カラヴリタ市は、首都アテネより西に180キロメートル、ギリシャ南部ペロポネソス半島アハイア県に位置する、31地区から成るカラヴリタ州の州都である。

ヘルモス山麓、標高750メートルに佇む、美しい景観と古い歴史を誇る風光明媚な山間の町であり、ギリシャ屈指のスキー場があることから冬場のリゾート地として観光客で賑わっている。また、切り立った山間を走り抜ける登山鉄道は町の観光名物として人気を集めている。



### 2. 歴史

1821年に始まったギリシャ独立戦争はカラヴリタの聖ラヴラ修道院での蜂起が発端であった。また、1943年、第二次世界大戦時の独ナチス占領軍により14歳以上の男性住民499人（生存者12人）が虐殺されるとともに町が焼き払われるという悲劇に見舞われた。同事件の記録や関連品はカラヴリタ市内の虐殺記念博物館（2005年設立）に収められており、市の丘には大きな十字架と犠牲者の名前が刻まれた慰霊碑がある。



### 3. 観光名所

#### （1）スキー場

カラヴリタ市中心地から14キロメートル、標高1,700～2,340メートルのヘルモス山にあるスキー場。シーズンは通常12月から4月までである。リフト数8機、初心者から上級者まで楽しめる13コースが揃い、スキー及びスノーボードのレンタル施設やカフェテリアも備えている。



#### （2）湖の洞窟

カラヴリタ市から約17キロメートル離れたカストリア村近くにある世界でも珍しい、3断層に分かれて池が点在する洞窟。全長約2キロメートルの洞窟には、美しい13の池とともに珍しい形状の鍾乳石も見られる。ガイドツアーも行われている。



#### （3）登山鉄道

カラヴリタ市より22キロメートル離れたディアコプトとカラヴリタ市を結ぶ登山鉄道。「オンドトス（歯型の意）」と呼ばれる同列車は、2本のレールの中央に歯型のレールを敷設し、車両の底に設置した歯車と噛みあわせて動くラック式鉄道である。所要時間は約

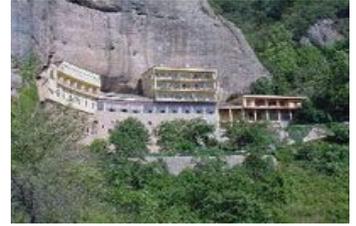


1時間。時速30-40キロでヴライコス溪流上の山間部を走り抜ける。バルカンでも屈指の景観が美しい鉄道といわれている。

#### (4) 聖メガ・スピレオ（大洞窟）修道院

カラヴリタ市より10キロメートル、高さ120メートルの岸壁の窪みに張り付くようにそびえたつ古い修道院。

326年、シメオンとセオドロス修道士兄弟によって建てられた。過去4回、火災で崩壊したが、使徒ルカが手がけたとされる聖母マリアのイコンは無傷で保たれている。修道院には同イコンのほかにも貴重な聖遺品や書籍が所蔵されている。8階建ての修道院からの眺めは絶景である。



#### (5) 聖ラヴラ修道院

カラヴリタ市より南西5キロメートル、961年に建てられた歴史的な修道院。一時期、修道士が960人を数えることもあった。

1821年3月25日、同修道院にてパトラ府司教のパレオン・パトロン・イェルマノスがギリシャ人兵士に向かって革命の宣誓を行い、ギリシャ独立戦争の火蓋が切られた。修道院にはギリシャ国家初の国旗とみなされている当時の宣誓の旗が保存されているとともに貴重な古書3千冊が収められている。



#### 4. 特産品

カラヴリタ産フェタチーズ、カッタージチーズ、グラヴィエラ・チーズ(羊の乳から作られるチーズ)、また「ロドザハリ」と呼ばれるヨーグルトに添えて食べるバラのジャムが有名であり、エギアリア地域ではワイン醸造も行われている。



#### 【お問い合わせ先】

○外務省地方連携推進室

電話 03-5501-8491

メール [gaimu-renkei@mofa.go.jp](mailto:gaimu-renkei@mofa.go.jp)

○在ギリシャ日本国大使館広報文化部

電話 210 670 9901/2

FAX 210 670 9981

メール [cultural@embjp.ondsl.gr](mailto:cultural@embjp.ondsl.gr)